

2012 年度活断層学会論文賞

授賞者： 丸山 正・遠田晋次・吉見雅行・安藤亮輔・高田陽一郎・斎藤英二・林 舟・
小俣雅志

対象論文： 2008 年岩手・宮城内陸地震に伴い岩手県奥州市国見山南麓に出現した地震断層北端部の性状，活断層研究，34，1-12.

授賞理由：

2008 年岩手・宮城内陸地震に伴って出現した地表地震断層の北端部について、航空レーザー測量・SAR 画像ピクセルマッチングにより山間部の断層位置を推定し、入念な現地踏査や測量調査を通じてその分布や性状の詳細を明らかにした。また、こうした丁寧な調査により、累積変位を示す地形の検出にも成功した。明瞭な活断層が認められない地域で起こった岩手・宮城内陸地震の複雑な震源過程を考察する上で貴重なデータを提示すると共に、地表踏査のみでは見落とされがちな、変位量の小さな分岐・並走断層や山間部の地震断層を多角的・包括的アプローチで検出する手法を提案している。調査が困難な山地域の地震断層・活断層調査の新たな手法の有効性を実証した優れた論文であり、日本活断層学会論文賞に値する。